



の会議は、私に「信頼」「平和」「交流」という意味について考える機会を与えてくれました。また9月には立命館宇治高等学校で日中青年会議の報告会を開き、後輩たちに日中青年会議の内容を受け継ぎ、広く報告できればと考えています。

「世界中のIB履修生と交流ができました!」

佐崎 詩菜 (IBDP 1年生)

国際バカロレア学生会議 (アメリカ、オレゴン州立大学) 参加

今回の会議に出席し、私は「様々な視点から物事を考える」ということについて学びました。私が参加した「グローバル・アクション・チーム」では少人数に分かれ、現在地球規模で起こっている問題や発展途上国の人々をいかに救済するか、という点について話し合いました。しかし、この会議は話し合いだけで終わるものではありませんでした。その後私たちは実際にオレゴン海岸に出向き、海洋生物の生態や太平洋における生態学を学びました。そして地元の生物学者から海洋生物についての話も聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。その他には、様々な国から集まったIBDP履修生と交流を持ち、CAS活動やIBカリキュラムについて先輩の履修生からアドバイスをもらうこともできました。今回、GCPに参加させてもらい、知識を深めることができただけでなく、IB教育を受けている仲間たちと出会い、触れ合うことができたのがこれからの私にとって大きな糧となることと思います。



「驚きと感動の連続!国際環境保全会議」

山本誠 (IBDP 1年生)

国際環境保全学生会議 (インドネシア) 参加

今回参加した「国際環境保全学生会議」は、僕自身にとって特別で、そして貴重な経験となるものでした。会議にはデンマーク、ロシア、ポーランド、ギリシャ、香港、韓国、インドネシア、ポルトガルなどの国々から生徒が参加し、異なった文化や習慣を共有する有意義な時間となりました。会議3日目と4日目にはインドネシアの火山地区に出かけ、火山地区周辺の村を訪ねたり、その地域の生態系を研究する機会に恵まれました。また、ラフティングをしたり、インドネシアで一番高い滝を見に行ったりもしました。滝はとても美しく、その美しさに目を疑ってしまう程でした。会議の最後には文化交流会があり、クラスメートと共に日本の劇を披露しました。今年、インドネシアで行なわれた国際環境保全学生会議は僕にとって驚きと感動の連続で、この会議に参加できたことで日本での自分の生活がいかに恵まれたものであるかということについて考え、また日々の暮らしについて改めて考える良い機会となりました。



Matthew Thomas (マシュー・トーマス)

立命館宇治中学校・高等学校
IB 教育部長 / IB Diploma Coordinator

新入生徒との出会いにワクワクしています。
今後も立命館宇治 IB のユニークな授業を紹介していきます。
楽しみにしていてください。



立命館宇治中学校・高等学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷 33-1

TEL : 0774-41-3000 FAX : 0774-41-3555

HP : www.ritsumeit.ac.jp/ujc E-mail : uji-returnee@ujc.ritsumeit.ac.jp



ここで紹介されているCAS活動は、IBDPのカリキュラムの中で大変重要な位置を占めています。日本の学校教育では体系化されていない、机上の勉強ではない様々な活動がDiploma取得の必須事項となっています。立命館宇治のIBでも積極的に応援しています。3人の活動報告を通して、その意義をはっきりと知ることが出来ます。